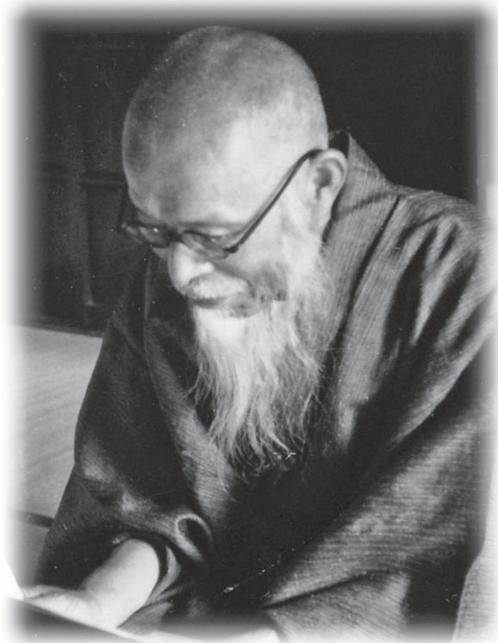


十禅師出身の植物学者

はし ちゆう ろう
もと た 郎
橋本忠太郎

—植物と向き合い続けた生涯—



▲橋本忠太郎（1886～1957）

日野町のたからの一つに豊かで美しい自然環境があげられます。

その美しい自然環境が生んだ植物学者橋本忠太郎。研究の成果は、半世紀たった今でも貴重な資料として植物学等の分野で役立っています。

普段なにげなく見ている草木も実はとても珍しいものかも知れません。皆さんも一度、いつもと少し違う視点で植物を見てみませんか。



▶植物学者として多大な功績を残されました

●橋本忠太郎の功績

橋本忠太郎は明治19（1886）年、日野町十禅師に生まれました。

必佐小学校や滋賀女子師範学校などで教師をしながら、地元である十禅師の四ヶ脊山や、綿向山、また、伊吹山など滋賀県内のさまざまな場所で、植物調査を行いました。

生前に収集・作製した植物の標本は3万点以上にのぼり、中にはイブキカモジクサなど39種

◀橋本忠太郎が命名した「ワタムキアザミ」



の新種が含まれていたことから、県内のみならず、日本の植物学発展にも多大な功績を残しています。

さらに、これらの標本の一部は東京国立博物館や京都大学総合博物館、滋賀大学ほか、国外の標本館などに贈られ、貴重な研究資料となりました。

また、個人的な調査・研究だけでなく、「日本の植物学の父」と言われる牧野富太郎とも交流があり、牧野が調査のために日野町を訪れた際に案内をしたり、要望された標本を数回にわたって贈呈したりしたことなどが記録に残っています。

さらに、植物だけでなく、鉱物、貝類、昆虫の採集・標本作製などにも打ち込みました。

一方、個人的な研究とは別に天然記念物の調査や音羽城跡などの測量などを行っており、熊野にあるヒダリマキガヤなど日野町に5つもの天然記念物があるというのも橋本忠太郎の調査・研究の成果だと言われています。

まちのたから 発見

志を受け継いで

橋本忠太郎顕彰会

●橋本忠太郎顕彰会とは

橋本忠太郎顕彰会（北村誓会長）は、平成20年に必佐小学校で橋本忠太郎が作製した植物の標本約600点が発見されたことをきっかけに、「橋本忠太郎さんの志を継いでいこう」という方が集まり、発足されました。

当初は、自然観察をされているマルバの会（森田景二代表）が中心でしたが、現在は、橋本忠太郎の出身地である十禅師地区の方や必佐小学校、綿向山を愛する会などたくさんの方々が加入されています。

●自然環境に興味を

今、私たちを取り巻く自然環境は大きく変わってきています。それは、一見自然豊かに見える日野町でも起こっています。例えば、数十年前まで町内でも見られたワタムキアザミ（現在は綿向山付近で見られます）やサギソウはもう見ることが難しくなりました。

北村会長は「橋本忠太郎さんを通じて、日野の皆さんに自然環境を取り巻く現実を知り、自然に対して興味を持ってほしい」と話されました。

●博物館での事業に向け

4月2日（火）から琵琶湖博物館で開催されるギャラ



▲橋本忠太郎顕彰会の皆さん

リー展示では、橋本忠太郎顕彰会の皆さんが「志を受け継ぐ活動」という展示コーナーを担当されます。「日野の偉人、橋本忠太郎さんを知り、学ぶ機会。ぜひ琵琶湖博物館へ見に行ってください。また、日野で植物の観察会が行われるので、参加し、身近な自然を学んでもらえれば」と北村会長は話してくださいました。



▲博物館での展示や自然観察会について熱心な議論を重ねてられました

琵琶湖博物館主催 ギャラリー展示等が行われます

4月2日（火）

6月9日（日）

滋賀県立琵琶湖博物館の企画展示室において、ギャラリー展示「近江の博物学者 橋本忠太郎 植物研究にかけた情熱」が開催されます。

橋本忠太郎の足跡をたどりながら、彼が残した業績や、滋賀の自然・植物相の特色を、標本や写真で紹介し、あわせて現在の植物の状態や橋本忠太郎の遺志を受け継ぐ人々の活動を紹介するもので、橋本忠太郎顕彰会や必佐小学校などの取り組みが紹介されます。

関連イベント

①春満開の綿向山登山

綿向山に登りながら専門家の案内で植物観察（健脚向き）

◆とき

5月19日（日）
8時30分～16時

◆募集定員

30名（小学校5年生以上）

②日野で植物観察会

日野川ダムの周囲で植物

の観察

◆とき

5月26日（日）
9時30分～12時30分

◆募集定員

30名（小学生以下は保護者同伴）

※事前申し込みが必要ですが、※申し込み方法等詳しくは琵琶湖博物館へお問い合わせください。

◆申し込み・問い合わせ先

琵琶湖博物館
滋賀県草津市下物町1091
☎077-568-4811



▲平成20年に行われた「みんなで自然観察会」